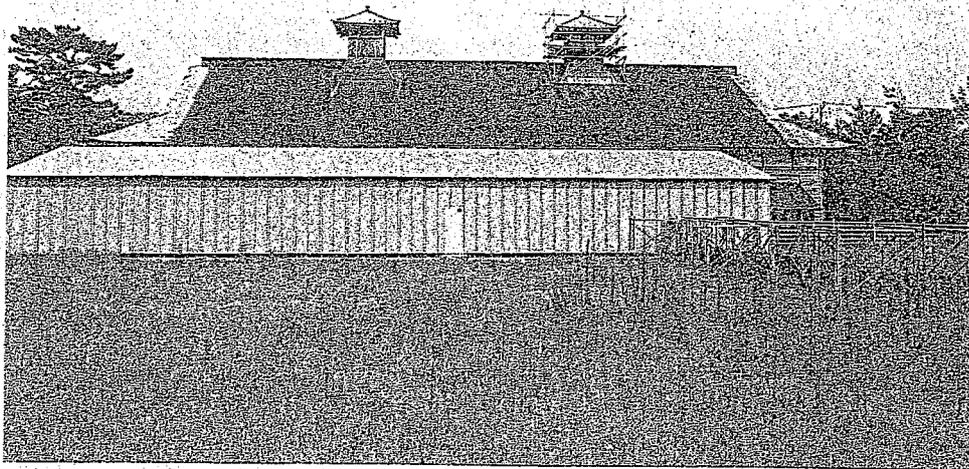




1 講堂遠景（市役所庁舎より）



2 背面（西面 手前の建物は旧校舎資材保存小屋）



3 背側面（北西面）

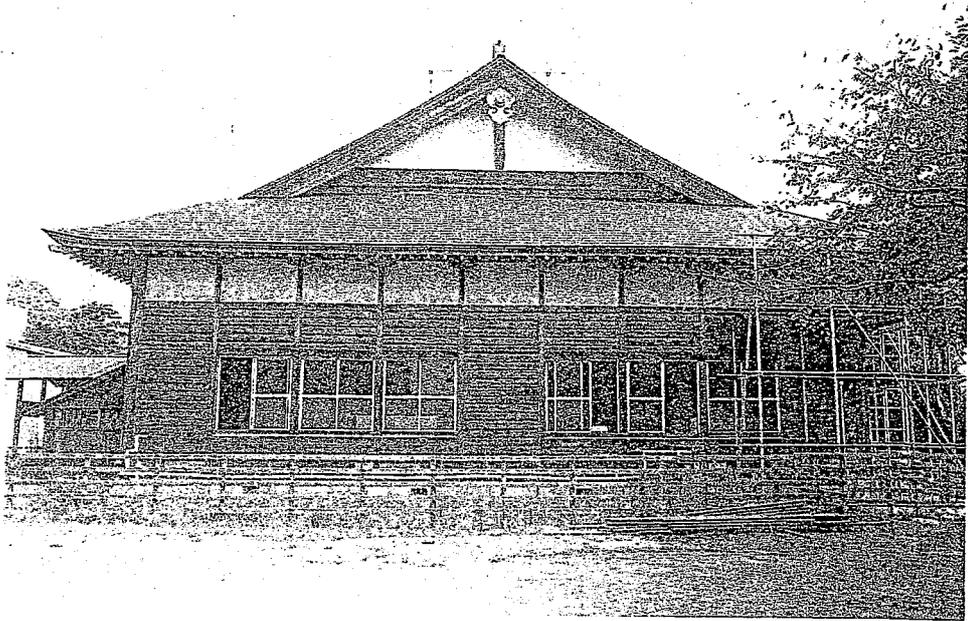
屋根が白く見えている部分は、平成8年度修理部分。



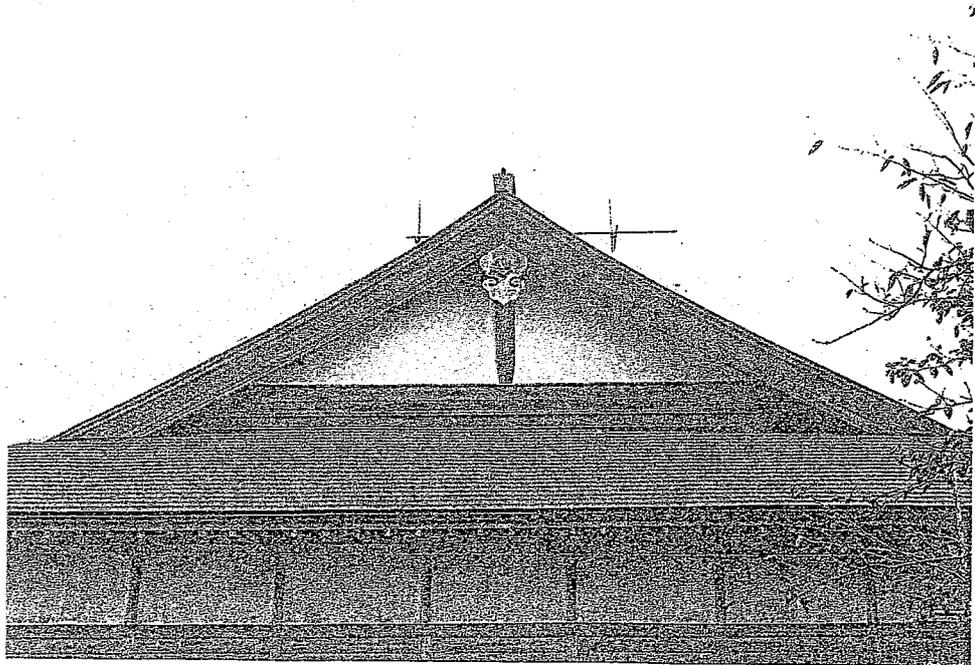
4 背側面（南東面）

屋根が白く見えている部分は、平成8年度修理部分。

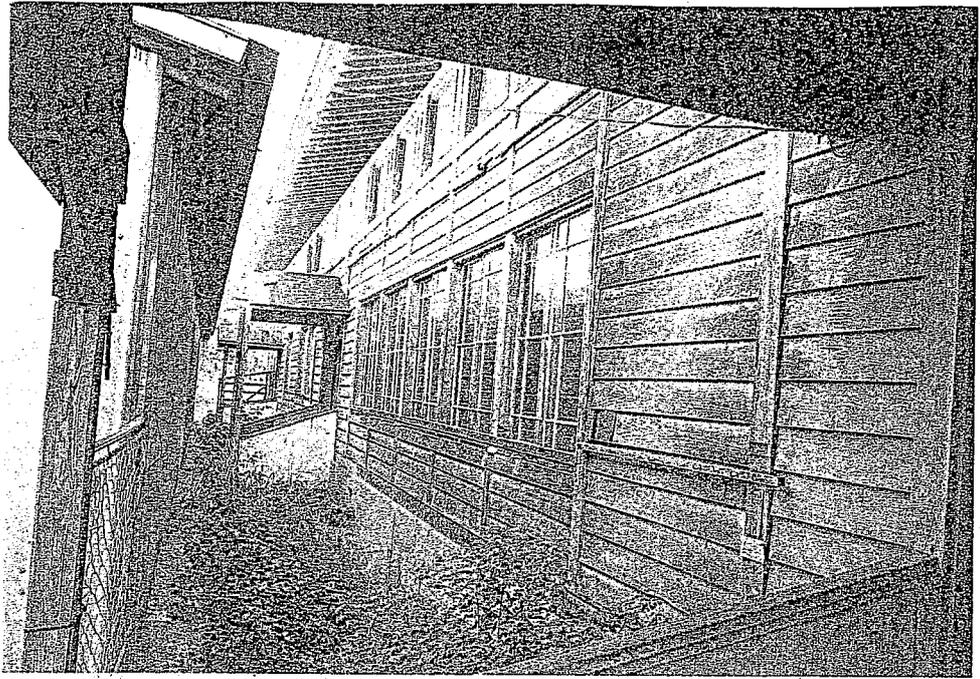
背面側の物置は、後世の増築部分。



5 側面（南側面）  
南側面窓建具は、アルミサッシに変えられている。



6 南側面屋根及び破風板  
屋根は平成8年度の補修されているため良好であるが、大棟鬼板は失われ、破風板の風蝕が目立つ。

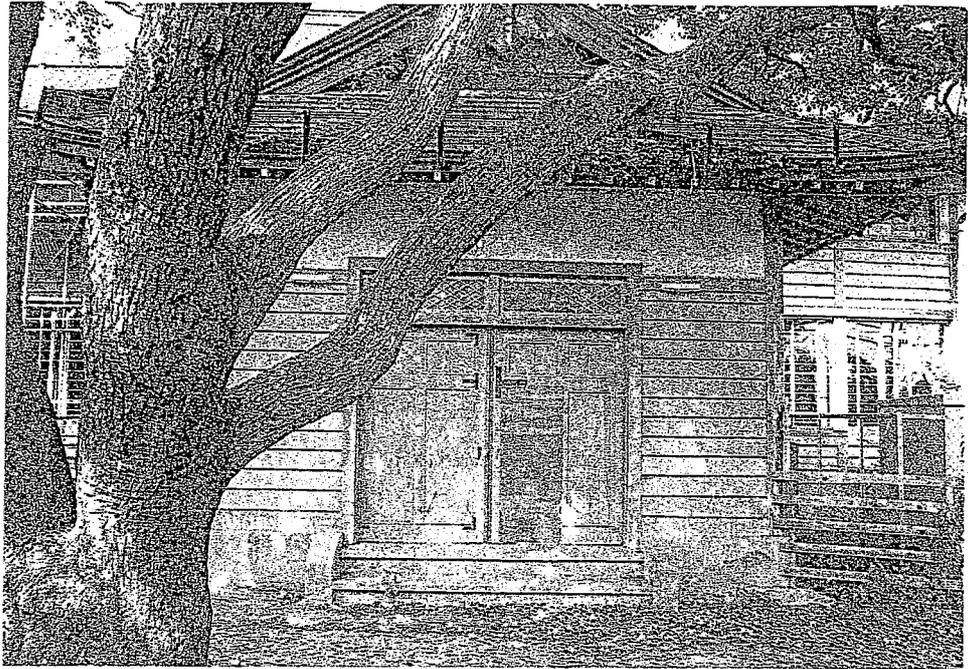


7 背面見通し（東面）

外壁に張られた下見板は、表面の塗装は剥落し、一部に補修された跡がある。

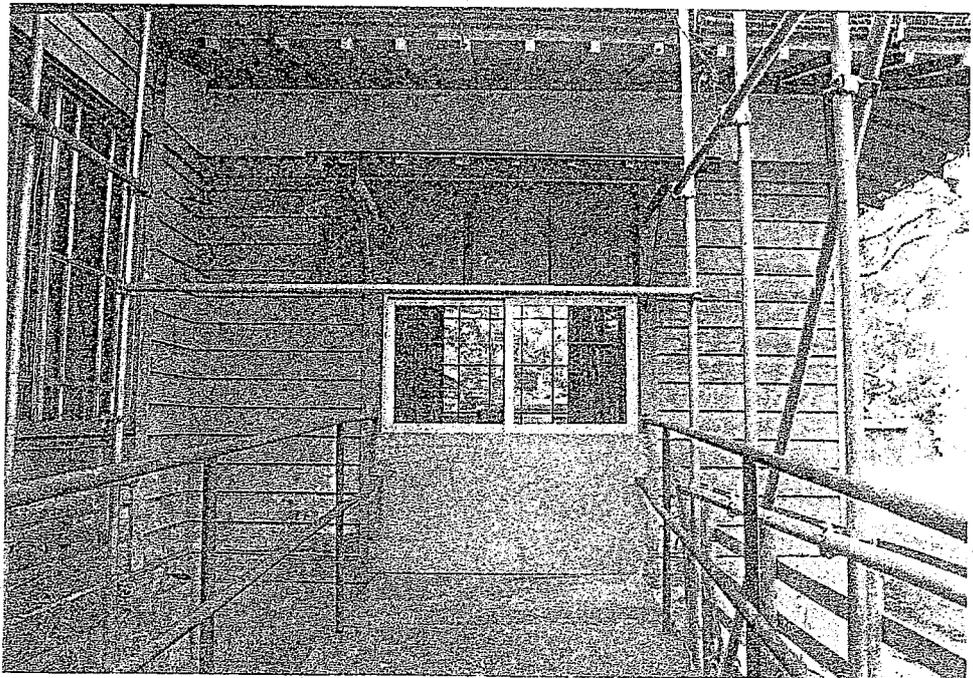


8 北面軒廻り



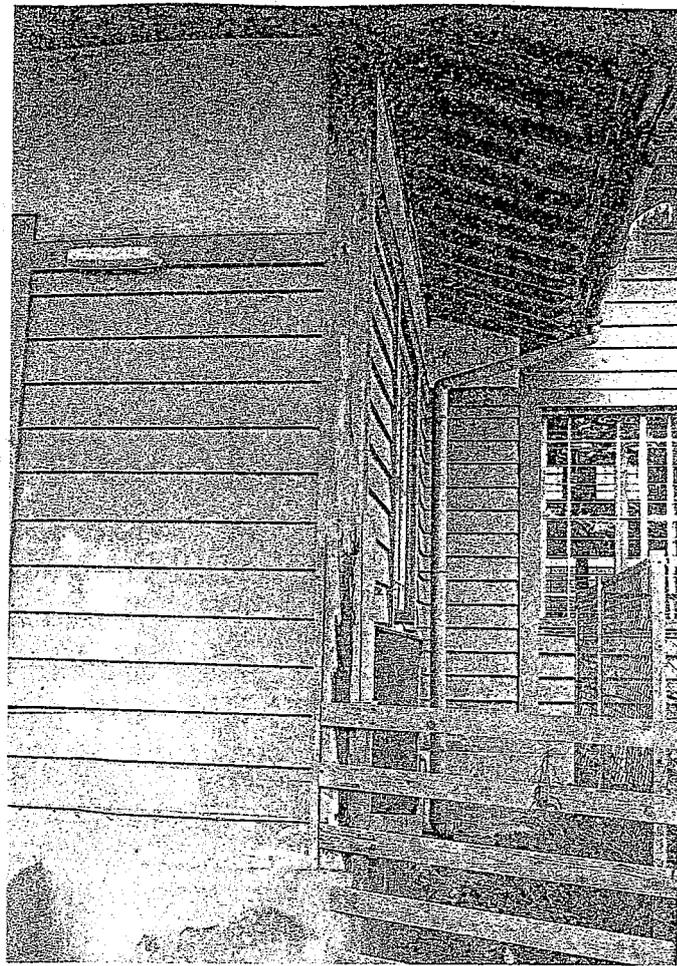
9 玄関正面（東面）

軒先にはスレート板落下防止用ネットが設置されている。

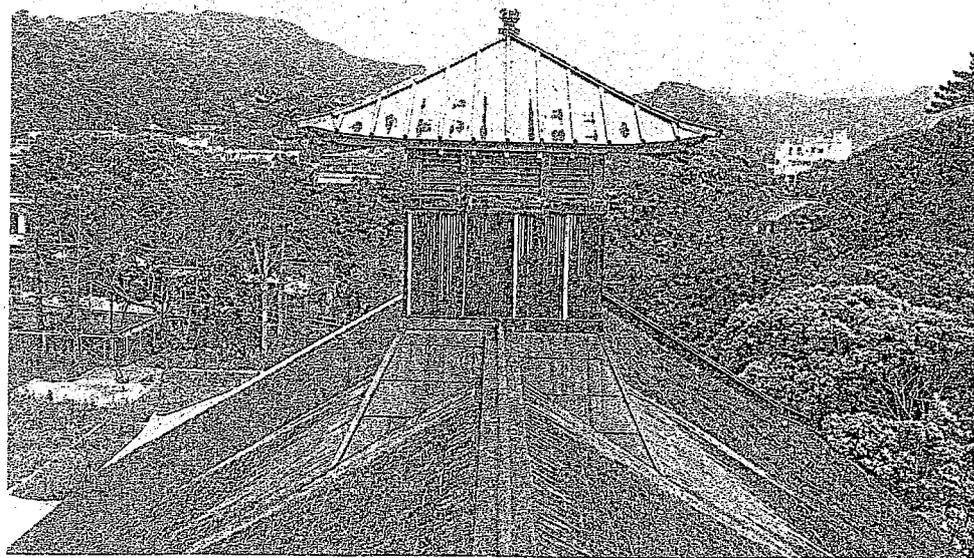


10 玄関南面出入口詳細

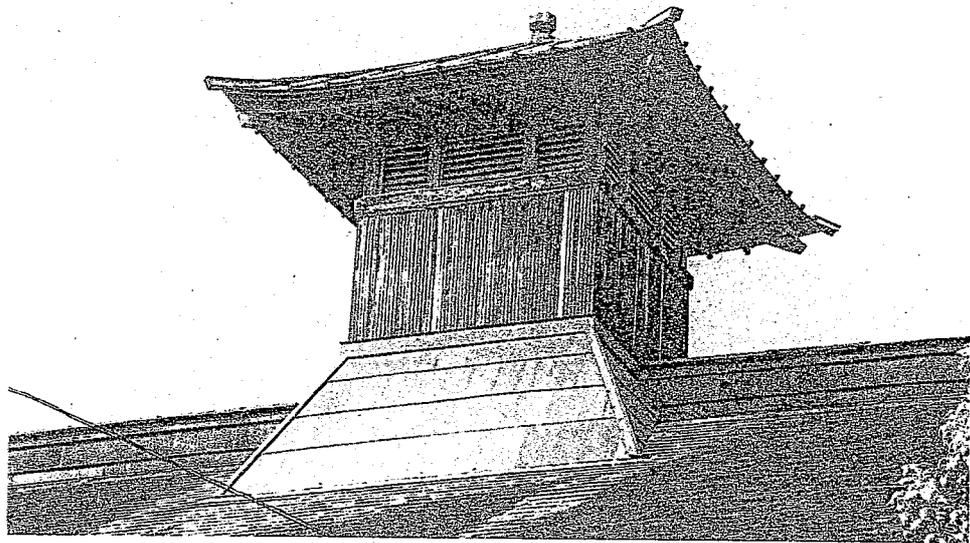
出入口建具はアルミサッシに取り替えられている。スロープは後設されたものであるが、手摺の変形及び錆が目立つ。



1 1 玄関北西隅柱破損状況  
柱は雨漏りによる腐朽及び蟻害により空洞化している。



1 2 塔屋南面及び大棟の納まり  
全体に鉄板部分は錆化している。



1 3 塔屋詳細（南西より）

塔屋は方形造、瓦棒形鉄板葺で、袴腰を付け、内法部分には換気用の窓をあける。



1 4 玄関大棟・降り棟の納まり

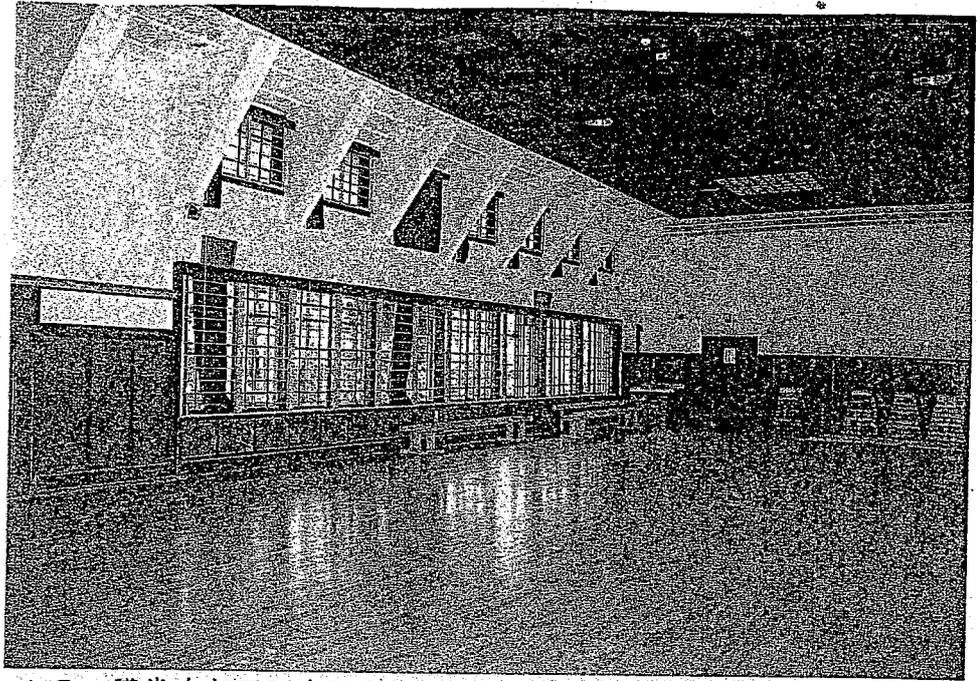
大棟・降棟とも近年補修された部分は良好であるが、在来部分は錆化して、その形状を失いつつある。



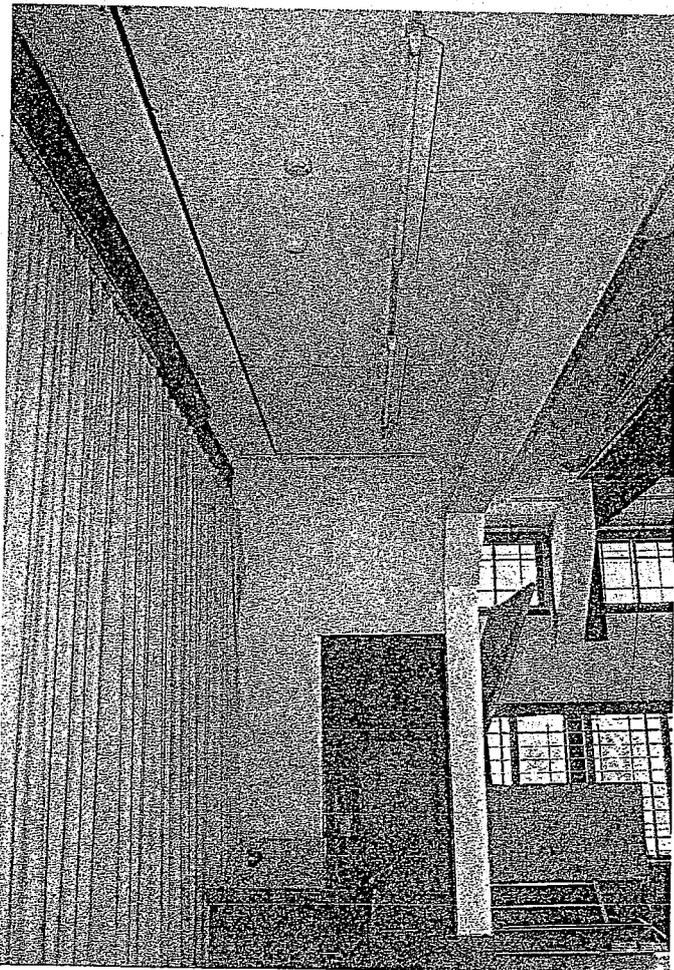
15 講堂内部見通し（南より演壇を見る）



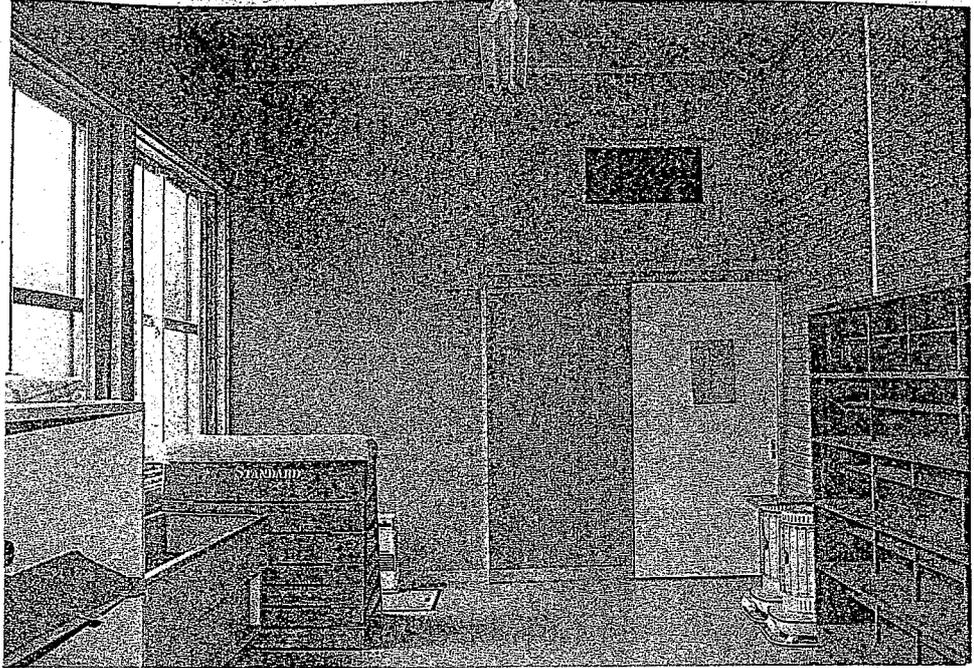
16 講堂内部見通し（同上見返し）



17 講堂内部正面窓見通し  
窓は引違いガラス戸であるが、窓養生のため鉄棧戸がはめ込まれている。

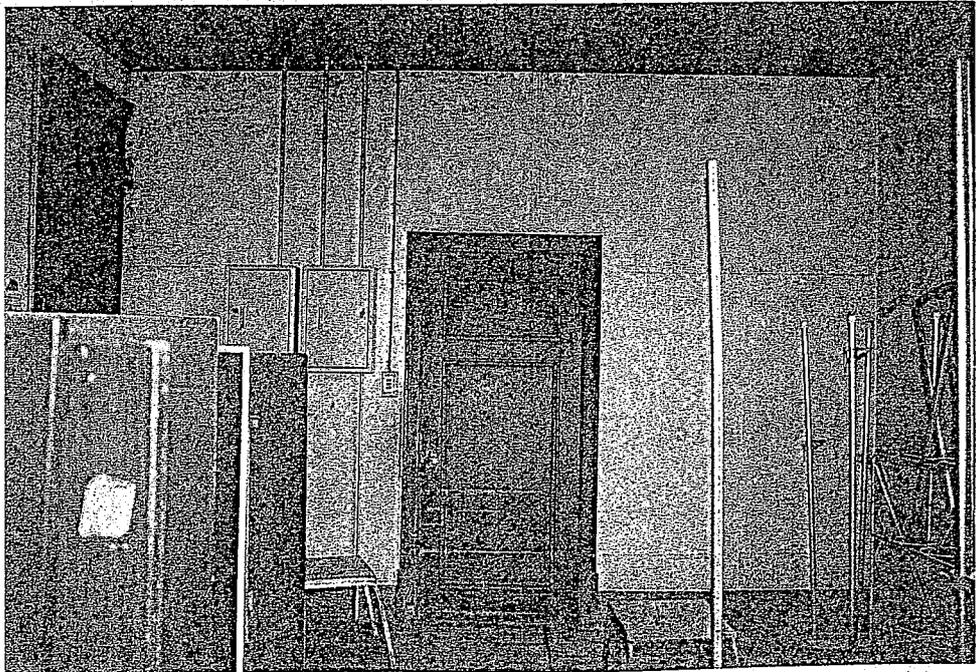


18 演壇天井の納まり

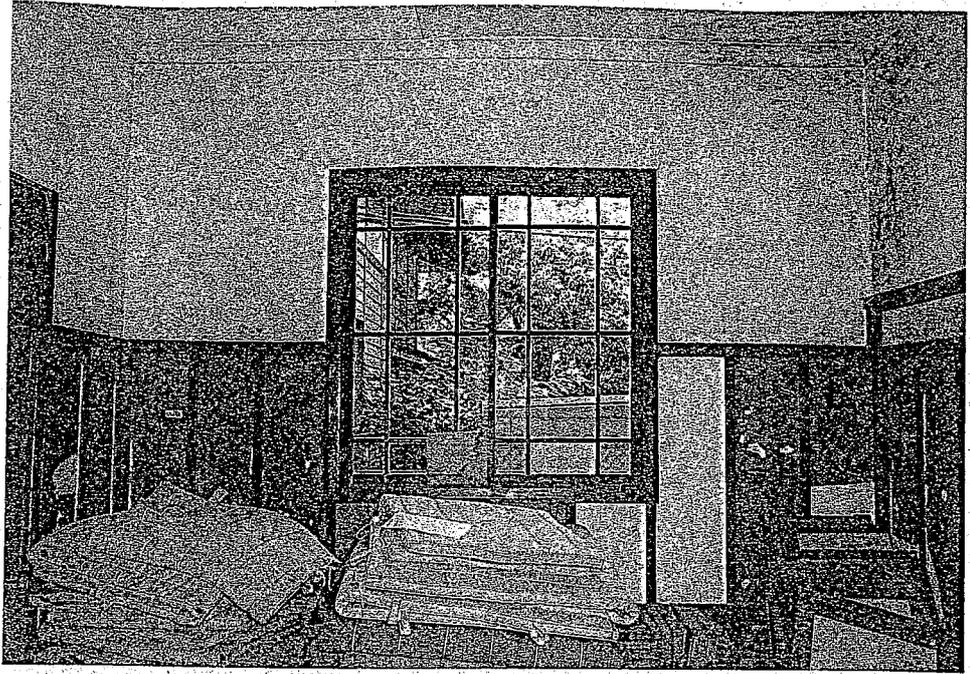


19 準備室内部

内部の便所を含む造作は全て後世の改造である。



20 控え室内部



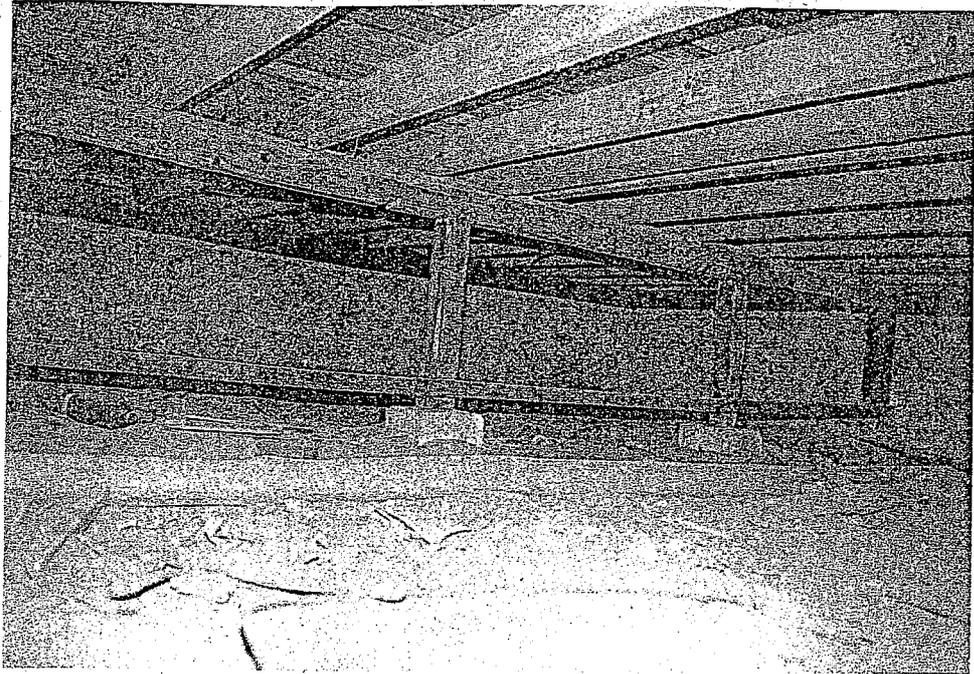
2 1 玄関内部の状態（北面窓詳細）

漆喰壁には穴があき、鼠漆喰は白漆喰に塗り直されているほか、天井隅には雨漏りによるシミが見られる。

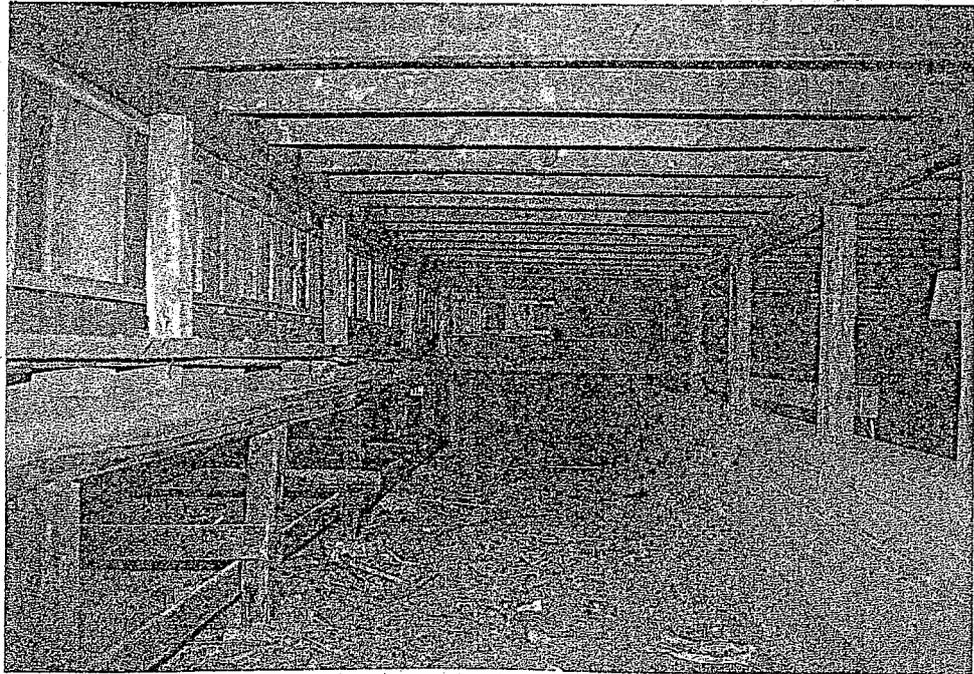


2 2 玄関照明器具及び天井の状態

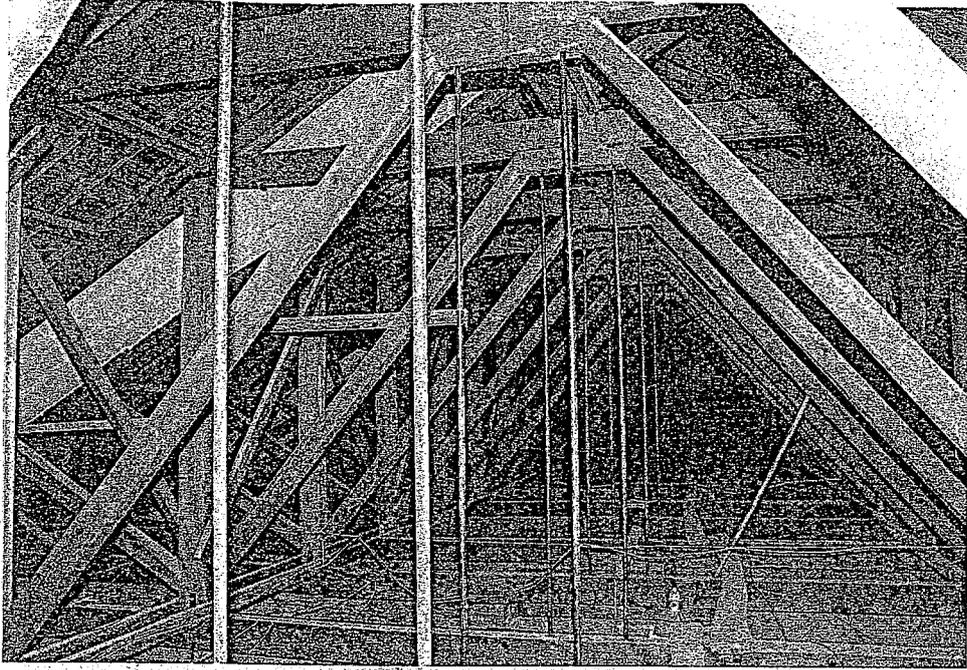
照明器具は建設当初のものとみられる。天井は漆喰塗となるが、隅部分には雨漏りによるシミが目立つ。



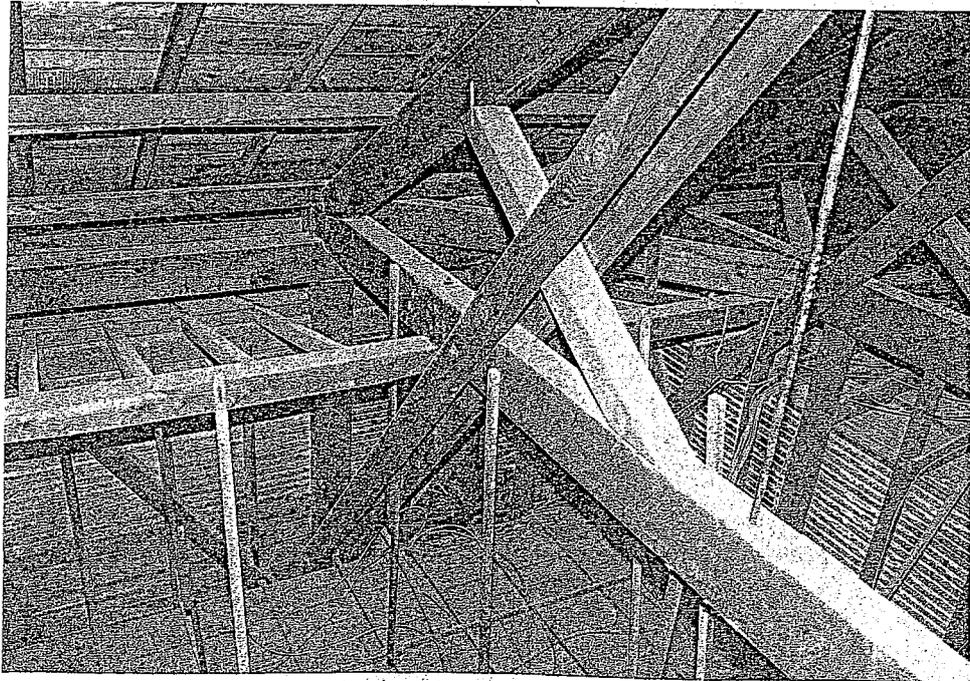
2 3 布基礎と床組の状態（講堂下）



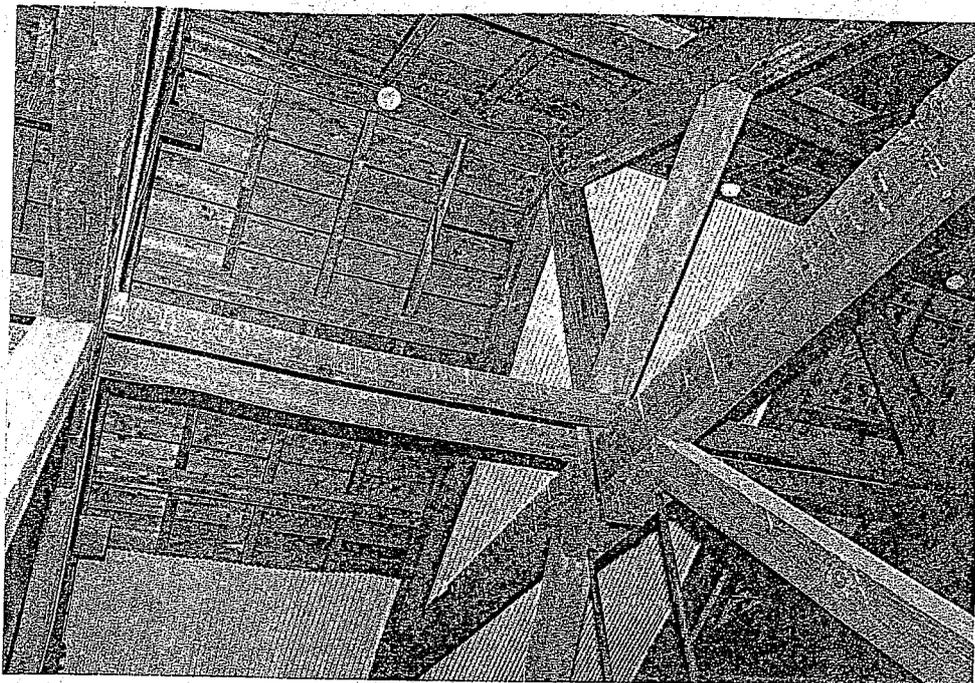
2 4 床組の状態（講堂・演壇境）



25 小屋トラス組の状態

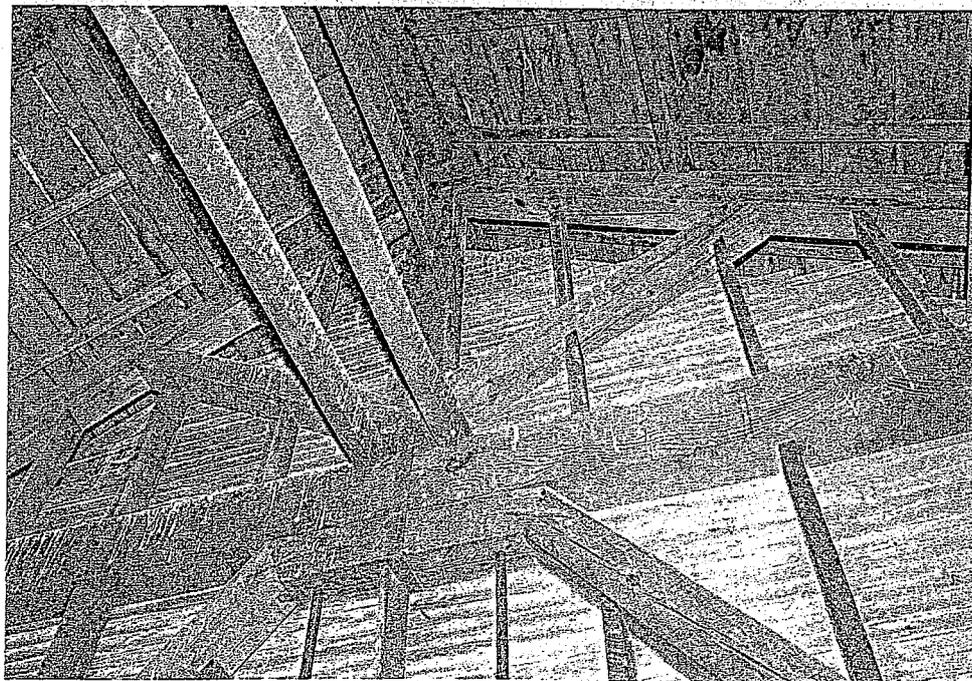


26 小屋トラス接合部詳細



27 小屋野地の状態

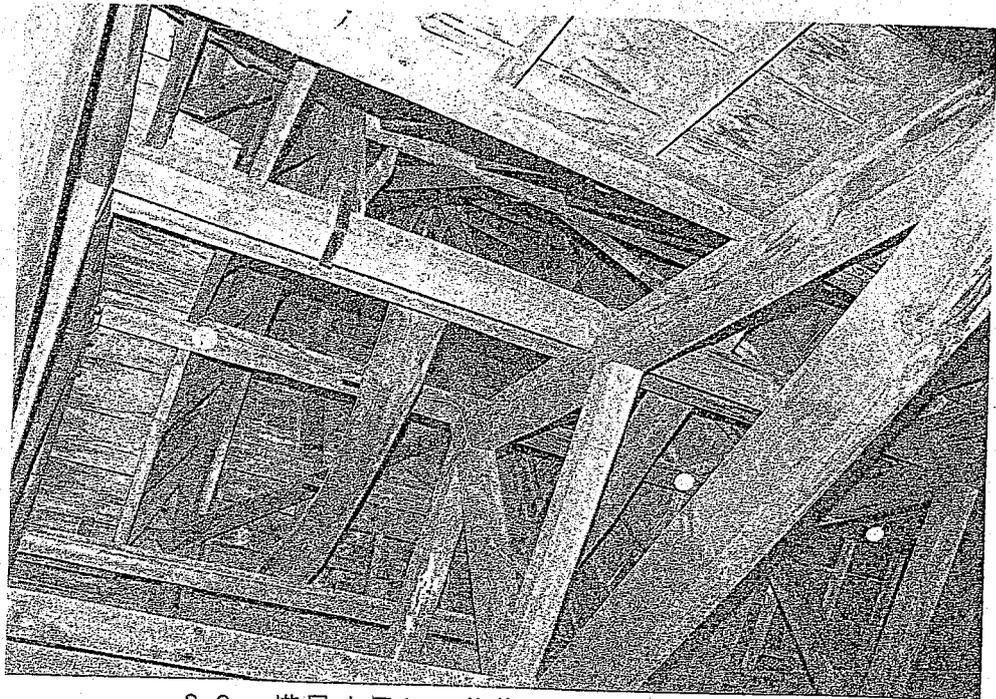
野地板には雨漏りにより、塩ビ波板で補修されている。



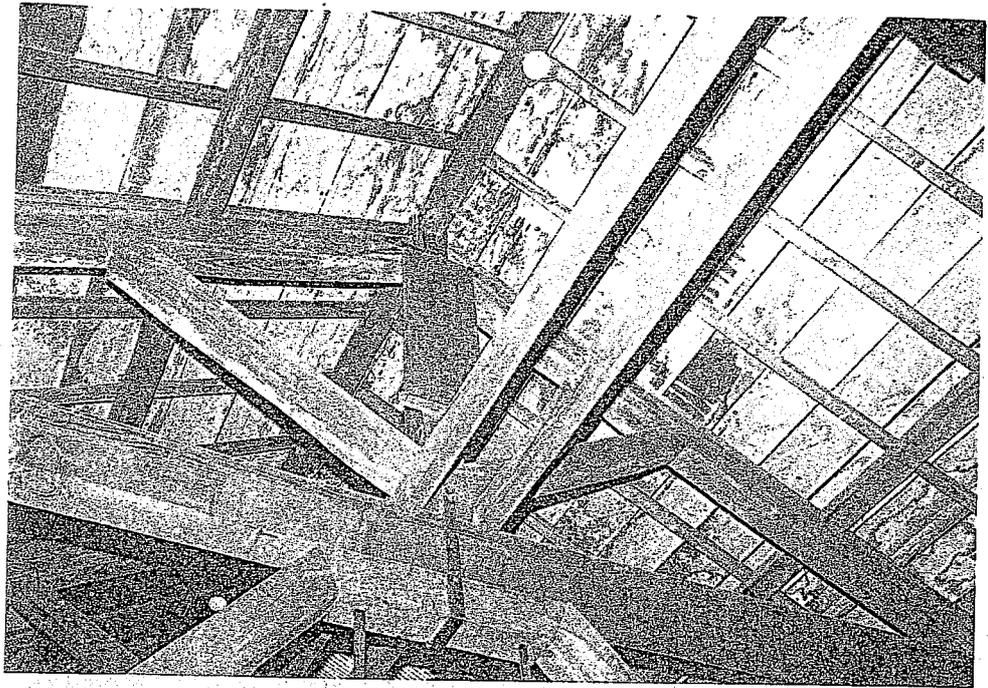
28 小屋組の状態（妻部分詳細）



29 小屋組の状態（妻部分詳細）

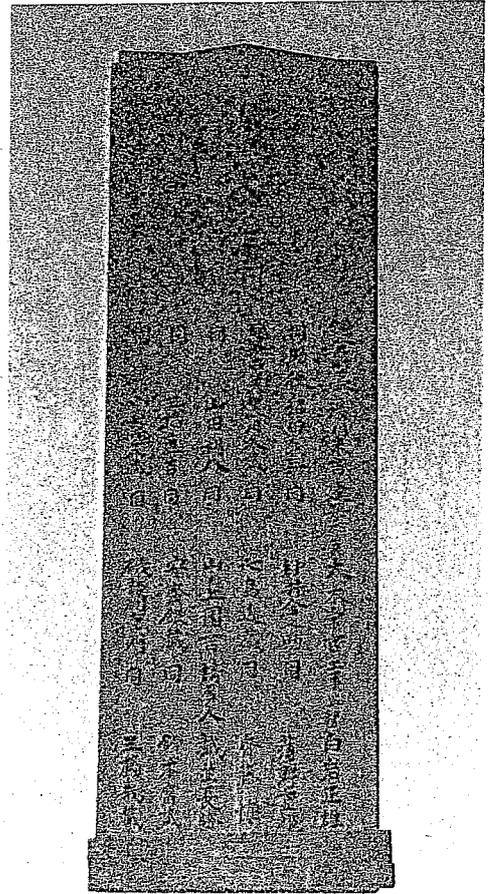


30 塔屋小屋組の状態



3 1 棟札取付状況

小屋トラス組真東に棟札が取り付けられている。



3 2 棟札